

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	臨床はり・きゅう学	講義	3	60	生理学1～2
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 3年	森井 健司	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
鍼灸の作用機序の理解として鍼灸治効の基礎、鍼灸療法の一般的治効理論や関連学説について学習する。 それと合わせてはりきゅうの基礎知識の復習をする。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
鍼灸作用機序の理解として、生理学で学んだ神経や伝導路などを復習しながら学習していきます。 生理学の教科書を事前に学習しなおしておくとう理解がスムーズにできると思います。					
教科書・参考書					
教科書: 東洋療法学校協会「はりきゅう理論」、「生理学」					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ● 授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ● 授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ● 授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ● 当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験を2回実施します。 詳細は授業で提示します。			
その他					
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎 知識①		/	森井
2		第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎 知識②		/	森井
3		第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎 知識③		/	森井
4		第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎 知識④		/	森井
5		第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎 知識⑤		/	森井
6		第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎 知識⑥		/	森井
7		第8章 鍼灸治効を理解するために必要な基礎 知識⑦		/	森井
8		第9章 鍼灸治効機序①		/	森井
9		第9章 鍼灸治効機序②		/	森井
10		第9章 鍼灸治効機序③		/	森井

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		第9章 鍼灸治効機序④		/	森井
12		第9章 鍼灸治効機序⑤		/	森井
13		第9章 鍼灸治効機序⑥		/	森井
14		第9章 鍼灸治効機序⑦		/	森井
15		第9章 鍼灸治効機序⑧		/	森井
16		第9章 鍼灸治効機序⑨		/	森井
17		第9章 鍼灸治効機序⑩		/	森井
18		第9章 鍼灸治効機序⑪		/	森井
前期試験					
19		第9章 鍼灸治効機序⑫		/	森井
20		第9章 鍼灸治効機序⑬		/	森井

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		総復習1		/	森井
22		総復習2		/	森井
23		総復習3		/	森井
24		総復習4		/	森井
25		総復習5		/	森井
26		総復習6		/	森井
27		総復習7		/	森井
28		総復習8		/	森井
29		総復習9		/	森井
30		総復習10		/	森井
後期試験					